

ほけんだより12月

2024/12/5

12月の保健・安全目標

○冬を健康に過ごそう

○冬の生活を安全にしよう

川原小学校保健室／喜友名千穂

〈お子様と一緒に読んでください〉



5、6年生は 血液教室を実施

川原、大本、名蔵、宮良小の4校合同で、
沖縄県赤十字血液センターの又吉さん
と一緒にオンライン授業を行いました。

エイズや HIV ウイルスについて学んだあと、血液は骨の中で作られるなど、血液の働きについて学習しました。「血液って働き者だね」とみんなびっくり。

そして、大切な「献血」のお話もしました。血液は未だ人工的に作ることができません。針を刺すのは怖いけど、少しの勇気と行動で誰かの命を救う手助けができます。

～献血は命をつなぐボランティア～

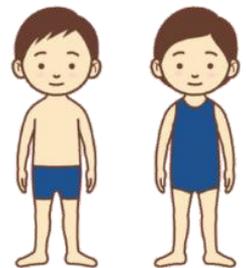
献血は、16歳になったらできます。病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うために、ぜひ今日の授業を思い出してくださいね。

がんの患者さんが
一番輸血を必要としている
ことを初めて知りました

16歳になったら
献血してみようかな

「生命(いのち)の安全教育」ってなに？

近年、性犯罪や性暴力が後を絶ちません。それは、大人の話ではなく、幼児や児童、中高生の被害も多いのが現状です。また、インターネットが普及し、SNS などで不特定多数と繋がれることが、より事態を深刻化させています。子ども達が今、そして将来、「被害者にならない」「加害者にならない」「傍観者にならない」ために、「命の大切さ」「自分を大切にすること」「相手を大切にすること」を学ぶことが重要なのです。それが「生命(いのち)の安全教育」です。



◎境界線について勉強したよ

「勝手に自分の物を使われて嫌な気持ち」
「やめてほしいって伝える」
「順番に使おうよって言う」

みんなで協力して
クイズにも挑戦したよ

3、4年生のみんなと、「自分と相手の心と体を大切にすること」を学びました。

ぜひお家でもお話を聞いてみてくださいね。